

生活交通改善事業計画（バリアフリー化設備等整備事業）

平成28年5月30日

（名称） 牧之原市地域公共交通会議

（代表者名） 会長 西原 茂樹 印

1. 生活交通改善事業計画の名称
平成28年度 牧之原市福祉タクシー導入促進計画
2. バリアフリー化設備等整備事業の目的・必要性
今後、高齢化社会の進展や障害者の社会進出への対応は重要な課題である。また、富士山静岡空港の利用者は増加傾向にあり、空港アクセスへの対応も必要である。これらに対応するため、ドア・ツー・ドアの運送を行うことができるタクシー事業の必要性・存在意義は増していくと考えられる。 そのため、地域内の福祉タクシー車両を増加させることにより、タクシー事業者が上記課題に積極的に対応していく必要がある。
3. バリアフリー化設備等整備事業の定量的な目標及び効果
（1）事業の目標
平成28年度中にユニバーサルデザインタクシー（以下UDタクシー）を地域内に1台導入する。（現在の導入状況 0台） ※福祉有償運送により、市外事業者自らが保有する福祉タクシー車両を利用し、市内登録者のみを個別輸送するサービスは存在する。
（2）事業の効果
UDタクシーの導入により、高齢者、障害者のみならず、妊産婦や大型荷物を持つ旅行者など、誰もが利用しやすい公共交通の実現が図られる。
4. バリアフリー化設備等整備事業の内容と当該事業を実施する事業者
（1）事業の内容：実施事業者（補助対象事業者）
（内容） ・UDタクシー車両の導入（1台）：東海タクシー株式会社
（実施事業者（補助対象事業者）の身体・知的・精神の3区分における運賃割引率について） ・身体・知的 各1割引 ・精神 設定なし
（実施事業者（補助対象事業者）における特定地域での減休車の状況について） ※特定地域外の事業者及び福祉限定事業者は記載不要 該当なし

(2) 関連事項（以下、〈 〉内の事業に該当する場合に記載）
〈福祉タクシー車両・共同配車センターに係る事業〉 （※全国的にみて地域の独自性があるとする事業内容を記載。ただし、以下の事業に該当する場合は必ず記載）
該当なし

5. バリアフリー化設備等整備事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額					
28年度（当該年度）					
事業の名称	総事業費 割合	国費 割合	都道府県負担 割合	市区町村負担 割合	事業者負担 割合
UDタクシー 車両導入	3,500千円	600千円	千円	千円	2,900千円
	100%	17%	%	%	83%
	千円	千円	千円	千円	千円
	100%	%	%	%	%
合 計	3,500千円	600千円	千円	千円	2,900千円
	100%	17%	%	%	83%
※総事業費については見込み額を記載。 ※列記の者以外に費用負担者がいる場合は、適宜修正の上、全体構成が分かるように記載。					

6. 計画期間				
以下項目別に概ねの着手・実施期間を矢印（←→）、または横棒線（——）で記載。 ●で事業着手日、事業完了日を記載				
事業の名称	平成28年度			
	4月	7月	12月	3月
UDタクシー車両 導入	<p style="text-align: center;">7月1日着手 3月31日完了</p>			

7. 協議会の開催状況と主な議論
平成28年5月13日 牧之原市地域公共交通会議委員に対し、本計画の書面審議を郵送により依頼 平成28年5月13日～27日 書面審議にて、全ての構成員から合意を得られた。

8. 利用者等の意見の反映

本計画の協議を行う牧之原市地域公共交通会議の構成員には、住民代表者である区長、牧之原市消費者協会会長が参加し、利用者等の意見を反映させている。

9. 協議会メンバーの構成員

関係都道府県	静岡県 交通基盤部 地域交通課
関係市区町村	牧之原市市 政策協働部 企画課
交通事業者・交通施設管理者等	静岡県バス協会、しずてつジャストライン(株)、ジャストライン労働組合、東海タクシー株式会社、榛南交通株式会社、牧之原警察署
地方運輸局	中部運輸局 静岡運輸支局
その他協議会が必要と認める者	勝間田地区長、萩間地区長、地頭方地区長、牧之原市消費者協会

■注意事項

・総合連携計画等の既存の計画を活用する場合は、上記の事項について記載のある計画をそのまま活用することでもよい。ただし、記載されていない事項については追記すること。

【本計画に関する担当者・連絡先】

(住 所) 静岡県牧之原市静波 447-1

(所 属) 政策協働部 企画課

(氏 名) 増田 隆助

(電 話) 0548-23-0040

(e-mail) kikaku@city.makinohara.shizuoka.jp